

2019年11月1日
(2019年11月27日時点版)

ニュースリリース

ジェットスター・ジャパン 次世代長距離型機エアバス A321neo (LR)の仕様概要を発表

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡 優)は、2020年夏から順次導入予定のエアバス A321neo (LR) 3機の客室構成、新機能、設計などの一部仕様を決定しました。



ジェットスター・ジャパン エアバス A321neo (LR) 外観イメージ

快適性がさらに向上した客室仕様

ジェットスター・ジャパンは、このたび導入予定の新型機において、お客様が機内でより快適に過ごせるよう最新の客室デザインを採用しました。機内空間を効率的に活用し、お客様への空間をさらに広げた設計となっています。

新型機は、全席エコノミークラスの238席仕様となり、座席には2019年[レッド・ドット・デザイン賞](#)において最優秀エコノミークラスシートに選ばれたRecaro社BL3710を採用しました。人間工学を駆使して設計され、中距離路線においても安定した座り心地をお客様に提供します。また、座席にはUSBポートやモバイル端末ホルダーを装備したほか、無線機内エンターテインメントの導入も検討しています。また、フライト中のさまざまなシーンに合わせて調光できるLED照明を設置し、お客様の快適性と利便性を考慮した設計となっています。



Recaro 社 BL3710(前面)



Recaro 社 BL3710(背面)

新型エンジンなどの導入で環境への負荷を軽減

ジェットスターが導入する A321 LR は、機内の静粛性の向上(注)にも貢献する CFM 社の「LEAP-1A32®」エンジンを 2 基搭載します。同エンジンにより、現行の A321ceo 型機と比較して燃費効率が約 15% 向上し、翼端に装着された空力装置「シャークレット」と合わせて、燃費効率をさらに向上させることが可能となります。この新型機の導入により、ジェットスター・ジャパンは CO₂ 排出量を 15% また NO_x(窒素酸化物)も 50% 削減できると見込んでいます。



CFM 社 LEAP-1A32 エンジン

燃費効率をさらに向上させるために、新型機では塗装工程を見直し機体の軽量化を図るための新たな方法で機体塗装を行うほか、ギャレーカートの軽量化も図ることで、一機あたりの機体重量を約 85kg 削減します。機体全体を軽量化することで燃費効率を向上させ、環境への負荷軽減を図ります。

ジェットスター・ジャパンの代表取締役社長片岡優は次のように述べています。

「当社は、ナローボディ機で現在最も航続距離が長い A321 LR を日本で初めて導入する予定です。今回導入する新型機は、延伸した航続距離を活かして新たな就航地の可能性を開くとともに、お客様にさらに快適な空の旅を提供します。ジェットスター・ジャパンは、新たな成長の鍵となる本機材の導入により、これからも低運賃で快適な空の旅をより多くのお客様に提供していく所存です」

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げるジェットスター・ジャパンは、日本 3 大都市である東京・名古屋・大阪を拠点に、引き続き安全運航を第一に気軽に楽しい空の旅を提供してまいります。

ジェットスターの A321 LR 型機の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

注: CAEP/6 基準を 50% 下回る

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線、2015年2月からは国際線の運航を開始しました。現在、国内16都市・24路線、国際4都市・7路線を25機のエアバス A320 型機(180席)で1日最大133便(2019年冬期運航スケジュール期間)を運航し、就航から3,000万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。

<https://www.jetstar.com/jp/ja/home>

(ご参考)ジェットスター・ジャパン エアバス A321neo (LR) 機体諸元

発注機材数	3機
座席数	238席
座席クラス	全席エコノミークラス
座席	Recaro BL3710
座席幅(肘掛け間)	16.65 in (42cm)
シートピッチ	28~39 in (71~99cm)
最大離陸重量	93,500kg
全幅	35.8m
全長	44.5m
全高	11.7m
客室全幅	3.9m
翼面積	122.6 平方 m
平均巡航速度	約 850km/時(マッハ 0.76)
巡航高度	29 ~ 39,000 フィート(約 8,840~約 11,890m)
航続距離	約 5,500km
搭載エンジン	2 x CFM Leap 1A Engines
全長	332cm
ファン直径	198cm
バイパス比	11:01
最大離陸推力	142.8kN / 32,100lbf

導入する機材の仕様は変更となる場合がございます

